



Deploy ユーティリティ

ONTAP Select

NetApp
February 11, 2026

This PDF was generated from https://docs.netapp.com/ja-jp/ontap-select/task_cli_upgrade_deploy.html on February 11, 2026. Always check docs.netapp.com for the latest.

目次

Deploy ユーティリティ	1
ONTAP Select Deployインスタンスのアップグレード	1
ステップ1：アップグレードパッケージをダウンロードする	1
ステップ2: ONTAP Select Deploy仮想マシンにパッケージをアップロードする	1
ステップ3: アップグレードパッケージを適用する	2
ONTAP Select Deployインスタンスを新しい仮想マシンに移行する	2
ステップ1: デプロイ構成データをバックアップする	3
ステップ2: Deploy仮想マシンの新しいインスタンスをインストールする	4
ステップ3: デプロイ構成データを新しい仮想マシンに復元する	4
導入するONTAP Selectイメージの追加	5
ステップ1: インストールイメージをダウンロードする	5
ステップ2: インストールイメージをデプロイにアップロードする	5
ステップ3: インストールイメージを追加する	6
ステップ4: 利用可能なインストールイメージを表示する	6
DeployからのONTAP Selectイメージの削除	7
2ノードクラスタのONTAP Select Deployユーティリティをリカバリする	8
デプロイユーティリティの回復の準備	8
設定のバックアップを使用したDeployユーティリティのインスタンスのリストア	9
Deployユーティリティのインスタンスを再設定してリカバリする	10

Deploy ユーティリティ

ONTAP Select Deploy インスタンスのアップグレード

ONTAP Select Deploy ユーティリティ CLI を使用して、既存の ONTAP Select Deploy ユーティリティ仮想マシンをインプレースでアップグレードします。

作業を開始する前に

アップグレード中に ONTAP Select Deploy が他のタスクの実行に使用されていないことを確認します。ONTAP Select Deploy ユーティリティのアップグレードに関する情報と制限事項については、"リリースノート"を参照してください。

ONTAP Select Deploy 管理ユーティリティの古いインスタンスがインストールされている場合は、現在のリリースにアップグレードする必要があります。ONTAP Select ノードと ONTAP Select Deploy コンポーネントは個別にアップグレードされます。を参照してください "ONTAP Select ノードをアップグレードする" を参照してください。



ONTAP Select Deploy 9.17.1 または 9.16.1 から ONTAP Select Deploy 9.18.1 に直接アップグレードできます。ONTAP Select Deploy 9.15.1 以前からアップグレードするには、ONTAP Select バージョンのリリース ノートを確認してください。

ステップ1：アップグレードパッケージをダウンロードする

アップグレードプロセスを開始するには、NetApp Support Site から ONTAP Select Deploy アップグレード ファイルをダウンロードします。アップグレード パッケージは、単一の圧縮ファイルとしてフォーマットされます。

手順

1. "NetApp Support Site ダウンロード" ページにアクセスします。
2. 下にスクロールして *ONTAP Select Deploy* を選択してください。
3. 希望する ONTAP Select バージョンを選択してください。
4. エンドユーザライセンス契約 (EULA) を確認し、*同意して続行* を選択します。
5. 適切な *ONTAP Select Deploy Upgrade* パッケージを選択してダウンロードします。必要に応じてすべてのプロンプトに応答します。

ステップ2: ONTAP Select Deploy 仮想マシンにパッケージをアップロードする

パッケージをダウンロードしたら、そのファイルを ONTAP Select Deploy 仮想マシンにアップロードする必要があります。

このタスクについて

このタスクでは、ファイルを ONTAP Select Deploy 仮想マシンにアップロードする 1 つの方法について説明します。ご使用の環境に適した他のオプションがある可能性があります。

作業を開始する前に

- アップグレード ファイルがローカル ワークステーションで使用可能であることを確認します。

- 管理者ユーザー アカウントのパスワードがあることを確認します。

手順

- ローカルワークステーションのコマンドシェルで、 `scp` (Secure Copy Protocol) ユーティリティを使用して、次の例に示すように、イメージ ファイルをONTAP Select Deploy 仮想マシンにアップロードします。

```
scp ONTAPdeploy2.12_upgrade.tar.gz admin@10.228.162.221:/home/admin  
(provide password when prompted)
```

結果

アップグレードファイルは、 `admin` ユーザのホームディレクトリに格納されます。

ステップ3: アップグレードパッケージを適用する

アップグレード ファイルをONTAP Select Deploy 仮想マシンにアップロードしたら、アップグレードを適用できます。

作業を開始する前に

- ONTAP Select Deploy ユーティリティ仮想マシンのどのディレクトリにアップグレード ファイルが配置されているかを確認します。
- アップグレードの実行中に、 ONTAP Select Deploy を使用して他のタスクが実行されていないことを確認します。

手順

- 管理者アカウントで `SSH` を使用してONTAP Select Deploy ユーティリティ CLI にSign in。
- 適切なディレクトリパスとファイル名を使用してアップグレードを実行します。

```
deploy upgrade -package-path <file_path>
```

コマンド例:

```
deploy upgrade -package-path /home/admin/ONTAPdeploy2.12_upgrade.tar.gz
```

完了後

アップグレード手順が完了する前に、 ONTAP Select Deploy 仮想マシン構成のバックアップを作成するよう求められます。また、新しく作成されたONTAP Select Deploy ページを表示できるように、ブラウザのキャッシュをクリアする必要があります。

ONTAP Select Deploy インスタンスを新しい仮想マシンに移行する

コマンドラインインターフェイスを使用して、 Deploy 管理ユーティリティの既存のイ

ンスタンスを新しい仮想マシンに移行できます。

この手順は、元の仮想マシンの設定データを使用する新しい仮想マシンの作成に基づいています。新しい仮想マシンと元の仮想マシンで実行する Deploy ユーティリティのバージョンとリリースが同じである必要があります。バージョンとリリースが異なる Deploy ユーティリティに移行することはできません。

ステップ1: デプロイ構成データをバックアップする

仮想マシンの移行の一環として、Deploy の設定データのバックアップを作成する必要があります。また、ONTAP Select クラスタを導入したあとにバックアップを作成する必要があります。データは単一の暗号化ファイルに保存され、ローカルワークステーションにダウンロードできます。

作業を開始する前に

- Deploy はバックアップ処理中に他のタスクを実行しないでください。
- 元のDeploy仮想マシンイメージを保存します。



Deployの設定データを元の仮想マシンから新しい仮想マシンにリストアする場合は、この手順の後半の工程で元のDeploy仮想マシンイメージが必要です。

このタスクについて

作成するバックアップファイルには、仮想マシンのすべての設定データがキャプチャされます。このデータには、ONTAP Select クラスタを含む導入環境の要素が説明されています。

手順

1. 管理者アカウントで SSH を使用して、Deploy ユーティリティの CLI にサインインします。
2. Deploy サーバの内部ディレクトリに格納されている Deploy の設定データのバックアップを作成します。

```
deploy backup create
```

3. プロンプトが表示されたら、バックアップのパスワードを入力します。

バックアップファイルは、パスワードに基づいて暗号化されます。

4. システムで使用可能なバックアップを表示します。

```
deploy backup show -detailed
```

5. [作成日] フィールドの日付に基づいてバックアップファイルを選択し、* ダウンロード URL * の値を記録します。

バックアップファイルには、URL からアクセスできます。

6. Curl などの Web ブラウザまたはユーティリティを使用して、URL を指定してバックアップファイルをローカルワークステーションにダウンロードします。

ステップ2: Deploy仮想マシンの新しいインスタンスをインストールする

Deploy 仮想マシンの新しいインスタンスを作成する必要があります。このインスタンスは、元の仮想マシンの設定データを使用して更新できます。

作業を開始する前に

VMware 環境で ONTAP Select Deploy 仮想マシンのダウンロードと導入に使用する手順を理解しておく必要があります。

このタスクについて

このタスクについては大まかに説明します。

手順

1. Deploy 仮想マシンの新しいインスタンスを作成します。
 - a. 仮想マシンイメージをダウンロードします。
 - b. 仮想マシンを導入し、ネットワークインターフェイスを設定します。
 - c. SSH を使用して Deploy ユーティリティにアクセスします。

関連情報

["ONTAP Select Deploy をインストールする"](#)

ステップ3: デプロイ構成データを新しい仮想マシンに復元する

元の Deploy ユーティリティの仮想マシンの設定データを新しい仮想マシンにリストアする必要があります。データは、ローカルワークステーションからアップロードする必要のある 1 つのファイルに格納されます。

作業を開始する前に

以前のバックアップの設定データが必要です。データは 1 つのファイルに格納され、ローカルワークステーションで使用できる必要があります。

手順

1. 次の例に示すように、ローカルワークステーションのコマンド シェルで、sftp ユーティリティを使用して、バックアップ ファイルを Deploy 仮想マシンにアップロードします。

```
sftp admin@10.234.81.101 (provide password when prompted)
put deploy_backup_20190601162151.tar.gz
exit
```

2. 管理者アカウントで SSH を使用して、Deploy ユーティリティの CLI にサインインします。
3. 構成データを復元します。

```
deploy backup restore -path <path_name> -filename <file_name>
```

コマンド例:

```
'deploy backup restore-path/home/admin-filename deploy_20180601162151.tar.gz
```

導入するONTAP Selectイメージの追加

ONTAP Select イメージを Deploy 管理ユーティリティのインスタンスに追加します。イメージをインストールしたら、ONTAP Select クラスタの導入時に使用できます。

作業を開始する前に

新しいONTAP Select イメージを Deploy に追加する前に、不要なイメージを削除する必要があります。



ONTAP Select イメージは、Deploy ユーティリティのインスタンスに含まれている元のバージョンよりも前のバージョンでのみ追加してください。ネットアップから提供される新しいバージョンのONTAP Selectは、サポートされていない構成では追加できません。

ステップ1: インストールイメージをダウンロードする

ONTAP Select イメージを Deploy ユーティリティのインスタンスに追加するプロセスを開始するには、ネットアップサポートサイトからインストールイメージをダウンロードする必要があります。ONTAP Select インストールイメージは、単一の圧縮ファイルとしてフォーマットされています。

手順

1. ["NetApp Support Site ダウンロード"ページ](#)にアクセスします。
2. 下にスクロールして、*ONTAP Select Image*を選択します。
3. インストールイメージの目的のリリースを選択します。
4. エンドユーザライセンス契約 (EULA) を確認し、*同意して続行*を選択します。
5. 適切な*ONTAP Select Image Install*パッケージを選択してダウンロードしてください。必要に応じてすべてのプロンプトに応答します。

ステップ2: インストールイメージをデプロイにアップロードする

ONTAP Select インストールイメージを取得したら、ファイルを Deploy 仮想マシンにアップロードする必要があります。

作業を開始する前に

ローカルワークステーションにインストールイメージファイルがあることを確認します。Deploy管理者ユーザーのアカウントのパスワードも必要です。

このタスクについて

このタスクは、ファイルを Deploy 仮想マシンにアップロードする方法の 1 つです。ご使用の環境に適したその他のオプションがある場合もあります。

ステップ

1. ローカル ワークステーションのコマンド シェルで、次の例に示すように、イメージ ファイルを Deploy 仮想マシンにアップロードします。

```
scp image_v_93_install_esx.tgz admin@10.234.81.101:/home/admin (provide password when prompted)
```

```
sftp admin@10.234.81.101 (provide password when prompted)
put image_v_93_install_esx.tgz
exit
```

結果

ノードインストールファイルは、管理者ユーザのホームディレクトリに格納されます。

ステップ3: インストールイメージを追加する

新しいクラスタを展開するときに使用できるように、ONTAP Selectインストールイメージを Deploy イメージディレクトリに追加します。

作業を開始する前に

Deploy ユーティリティの仮想マシンでインストールイメージファイルを配置したディレクトリを確認しておく必要があります。このファイルは、管理者のホームディレクトリにあると想定されます。

手順

1. 管理者（admin）アカウントで SSH を使用して、Deploy ユーティリティの CLI にサインインします。
2. Bash シェルを起動します。

```
shell bash
```

3. 次の例に示すように、インストールイメージファイルを images ディレクトリに配置します。

```
tar -xf image_v_93_install_esx.tgz -C /opt/netapp/images/
```

ステップ4: 利用可能なインストールイメージを表示する

新しいクラスタを展開するときに使用できるONTAP Selectイメージを表示します。

手順

1. Deploy ユーティリティの仮想マシンのオンラインドキュメントの Web ページにアクセスし、管理者（admin）アカウントを使用してサインインします。

[http://<FQDN|IP_ADDRESS>/api/ui`](http://<FQDN|IP_ADDRESS>/api/ui) にアクセスします

Deploy 仮想マシンのドメイン名または IP アドレスを使用してください。

2. ページの下部に移動して デプロイ を選択し、次に **GET /images** を選択します。
3. 利用可能なONTAP Selectイメージを表示するには、「試してみる」を選択します。

4. 目的のイメージが使用可能であることを確認します。

DeployからのONTAP Selectイメージの削除

不要になったONTAP Selectイメージは、Deploy管理ユーティリティのインスタンスから削除できます。



クラスタで使用中のONTAP Selectイメージを削除しないでください。

このタスクについて

クラスタで現在使用されていない、または将来のクラスタ導入で使用する予定の古いONTAP Selectイメージを削除できます。

手順

1. 管理者（admin）アカウントでSSHを使用して、DeployユーティリティのCLIにサインインします。
2. Deployで管理されるクラスタを表示して、使用中のONTAPイメージを記録します。

```
cluster show
```

各ケースのバージョン番号とハイパーバイザープラットフォームをメモします。

3. Bashシェルを起動します。

```
shell bash
```

4. 使用可能なすべてのONTAP Selectイメージを表示します。

```
ls -lh /opt/netapp/images
```

5. 必要に応じて、ハイパーバイザーホストからONTAP Selectイメージを削除します。

ESXiノレイ

```
rm -r /opt/netapp/images/DataONTAPv-9.3RC1-vidconsole-esx.ova
```

KVMの例

```
rm -r /opt/netapp/images/DataONTAPv-9.3RC1-serialconsole-kvm.raw.tar
```

2ノードクラスタのONTAP Select Deployユーティリティをリカバリする

ONTAP Select Deploy ユーティリティに障害が発生した場合や、何らかの理由でユーティリティが使用できない場合は、ONTAP Select のノードとクラスタを管理できなくなります。また、Deploy に含まれるメディエーターサービスを使用できないため、すべての 2 ノードクラスタの HA 機能が失われます。リカバリ不能な障害が発生した場合は、Deploy ユーティリティのインスタンスをリカバリして、管理と HA の機能をリストアする必要があります。

デプロイユーティリティの回復の準備

デプロイ ユーティリティのインスタンスの回復を確実に成功させるには、その前に準備を行う必要があります。いくつかの管理手順に精通し、必要な情報を把握している必要があります。

手順

1. ハイパーテーバイザー環境にONTAP Select Deploy ユーティリティの新しいインスタンスをインストールできることを確認します。
["ONTAP Select Deployユーティリティのインストールについて学習します"](#)
2. ONTAP Selectクラスタにログインし、ONTAPクラスタ シェル (CLI) にアクセスできることを確認します。
3. ONTAP Select 2 ノード クラスタを含む、障害が発生した Deploy ユーティリティ インスタンスからの構成データのバックアップがあるかどうかを確認します。クラスタが含まれていないバックアップがある可能性があります。
4. 使用した回復手順に応じて、デプロイ構成データのバックアップを復元できることを確認します。

["デプロイ構成データを新しい仮想マシンに復元する方法について説明します。"](#)

5. 失敗した元の Deploy ユーティリティ仮想マシンの IP アドレスがわかります。
6. 容量プールまたは容量階層ライセンスが使用されているかどうかを決定します。容量プールライセンスを使用する場合は、デプロイインスタンスを復旧またはリストアした後、各容量プールライセンスを再インストールする必要があります。
7. ONTAP Select Deploy ユーティリティのインスタンスをリカバリするときに使用する手順を決定します。この決定は、ONTAP Selectの2ノードクラスタを含む、障害が発生した元のDeployユーティリティの設定データのバックアップがあるかどうかに基づいて行われます。

2ノードクラスタを含む Deploy のバックアップがあるか	回復手順を使用します...
はい。	設定のバックアップを使用したDeployユーティリティのインスタンスのリストア
いいえ	Deployユーティリティのインスタンスを再設定してリカバリする

設定のバックアップを使用したDeployユーティリティのインスタンスのリストア

2ノードクラスタを含む、障害が発生した Deploy ユーティリティのインスタンスのバックアップがある場合は、新しい Deploy 仮想マシンのインスタンスに設定データをリストアできます。次に、ONTAP Select クラスタ内の 2つのノードの追加設定を実行して、リカバリを完了する必要があります。

作業を開始する前に

2ノード クラスターを含む元の失敗したデプロイ仮想マシンから構成データをバックアップします。ノードクラスタのONTAP CLIにサインインでき、2つのノードのONTAP名を知っている必要があります。

このタスクについて

リストアする設定のバックアップには 2ノードクラスタが含まれているため、メディエーターの iSCSI ターゲットとメールボックスは、新しい Deploy ユーティリティの仮想マシンに再作成されます。

手順

1. ONTAP Select Deploy ユーティリティの新しいインスタンスを準備します。
 - a. 新しい Deploy ユーティリティの仮想マシンをインストールします。
 - b. Deploy の設定を以前のバックアップから新しい仮想マシンにリストアします。

インストールとリストアの手順の詳細については、関連するタスクを参照してください。
2. ONTAP Select の 2ノードクラスタの ONTAP コマンドラインインターフェイスにサインインします。
3. advanced 権限モードに切り替えます。

```
set adv
```

4. 新しい Deploy 仮想マシンの IP アドレスが元の Deploy 仮想マシンと異なる場合は、古いメディエーター iSCSI ターゲットを削除し、新しいターゲットを追加します。

```
storage iscsi-initiator remove-target -node * -target-type mailbox
```

```
storage iscsi-initiator add-target -node <node1_name> -label mediator -target-type mailbox -target-portal <ip_address> -target-name <target>
```

```
storage iscsi-initiator add-target -node <node2_name> -label mediator -target-type mailbox -target-portal <ip_address> -target-name <target>
```

「<IP_address>」 パラメータは、新しい Deploy 仮想マシンの IP アドレスです。

これらのコマンドを使用すると、新しい Deploy ユーティリティの仮想マシン上のメールボックスディスクを ONTAP Select ノードで検出できます。

5. メディエーターディスクの名前を特定します。

```
disk show -container-type mediator
```

6. メールボックスディスクを 2 つのノードに割り当てます。

```
disk assign -disk <mediator-disk1-name> -owner <node1-name>
```

```
disk assign -disk <mediator-disk2-name> -owner <node2-name>
```

7. ストレージフェイルオーバーが有効になっていることを確認します。

```
storage failover show
```

完了後

容量プール ライセンスを使用する場合は、各容量プール ライセンスを再インストールします。見る"容量プールライセンスの再インストール"詳細については、こちらをご覧ください。

Deployユーティリティのインスタンスを再設定してリカバリする

2 ノード クラスターを含む、障害が発生した Deploy ユーティリティ インスタンスのバックアップがない場合は、新しい Deploy 仮想マシンでメディエーター iSCSI ターゲットとメールボックスを構成します。次に、ONTAP Select クラスタ内の 2 つのノードの追加構成を実行して、リカバリを完了します。

作業を開始する前に

新しいデプロイ ユーティリティ インスタンスのメディエーター ターゲットの名前があることを確認します。ノードクラスタのONTAP CLIにサインインでき、2つのノードのONTAP名を知っている必要があります。

このタスクについて

必要に応じて、設定のバックアップを新しい Deploy 仮想マシンにリストアできます。2 ノードクラスタがバックアップに含まれていなくてもリストアは可能です。リストアで 2 ノードクラスタが再作成されることはないとため、Deploy の ONTAP Select オンラインドキュメントの Web ページを使用して、メディエーターの iSCSI ターゲットとメールボックスを新しい Deploy ユーティリティのインスタンスに手動で追加する必要があります。2 ノードクラスタにサインインし、2 つのノードの ONTAP 名を確認しておく必要があります。



リカバリ手順 の目的は、2 ノードクラスタを正常な状態にリストアして、通常の HA テイクオーバー処理とギブバック処理を実行できるようにすることです。

手順

1. ONTAP Select Deploy ユーティリティの新しいインスタンスを準備します。
 - a. 新しい Deploy ユーティリティの仮想マシンをインストールします。
 - b. 必要に応じて、Deploy の設定を以前のバックアップから新しい仮想マシンにリストアします。

以前のバックアップをリストアする場合、新しい Deploy インスタンスには 2 ノードクラスタが含まれません。インストールとリストアの手順の詳細については、関連情報のセクションを参照してください。

2. ONTAP Select の 2 ノードクラスタの ONTAP コマンドラインインターフェイスにサインインします。
3. advanced 権限モードに切り替えます。

```
set adv
```

4. メディエーターの iSCSI ターゲット名を取得します。

```
storage iscsi-initiator show -target-type mailbox
```

5. 新しい Deploy ユーティリティの仮想マシンのオンラインドキュメント Web ページにアクセスし、admin アカウントを使用してサインインします。

[http://<ip_address>/api/ui`](http://<ip_address>/api/ui) にアクセスします

Deploy 仮想マシンの IP アドレスを使用する必要があります。

6. **Mediator** を選択し、**GET /mediators** を選択します。

7. *試してみる*を選択すると、Deploy によって管理されるメディエーターのリストが表示されます。

目的のメディエーターインスタンスの ID をメモします。

8. **Mediator** を選択し、次に **POST** を選択します。

9. `mediator_id` の値を指定します

10. 横にある*モデル*を選択してください `iscsi_target` 名前の値を完了します。

`iqn` 名前パラメータのターゲット名を使用します。

11. 試してみる を選択して、メディエーター iSCSI ターゲットを作成します。

要求が成功すると、HTTP ステータスコード 200 が表示されます。

12. 新しい Deploy 仮想マシンの IP アドレスが元の Deploy 仮想マシンと異なる場合は、ONTAP の CLI を使用して、古いメディエーターの iSCSI ターゲットを削除し、新しいターゲットを追加する必要があります。

```
storage iscsi-initiator remove-target -node * -target-type mailbox
```

```
storage iscsi-initiator add-target -node <node1_name> -label mediator
-target-type mailbox -target-portal <ip_address> -target-name <target>
```

```
storage iscsi-initiator add-target -node <node2_name> -label mediator-
-target-type mailbox -target-portal <ip_address> -target-name <target>
```

「<IP_address>」パラメータは、新しい Deploy 仮想マシンの IP アドレスです。

これらのコマンドを使用すると、新しい Deploy ユーティリティの仮想マシン上のメールボックスディスクを ONTAP Select ノードで検出できます。

13. メディエーターディスクの名前を特定します。

```
disk show -container-type mediator
```

14. メールボックスディスクを 2 つのノードに割り当てます。

```
disk assign -disk <mediator-disk1-name> -owner <node1-name>
```

```
disk assign -disk <mediator-disk2-name> -owner <node2-name>
```

15. ストレージフェイルオーバーが有効になっていることを確認します。

```
storage failover show
```

完了後

容量プール ライセンスを使用する場合は、各容量プール ライセンスを再インストールします。見る["容量プールライセンスの再インストール"](#)詳細については、こちらをご覧ください。

著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を隨時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5225.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用権を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用権については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。